

## ニカラグア定期報告（2021年3月）

### 【要旨】

内政・外交面では、インド政府からの無償援助及び COVAX ファシリティによるワクチンが到着し、一方でロシア製ワクチンの接種が開始した。大統領選挙に向けて、野党から複数の人物が立候補を表明した。保健省発表による新型コロナウイルス感染発生からのニカラグアの累計感染者数は、5,326名、累計死者数は178名である（3月30日時点）。一方で、市民監視団体は感染疑い者累計13,312名及び累計死亡者数3,014名（3月17日時点）と発表している。経済面では、2021年のニカラグア経済成長率を、ニカラグア中央銀行は2.5～3.5%、世界銀行は0.9%と予測した。

### 【主な出来事】

#### 1 内政・外交

##### （1）新型コロナウイルスワクチン接種の開始

2日、当国保健省（MINSA）は、当国民に対してロシアから供与された当国最初のワクチン（スプートニクV、6千回分）の接種を、マナグア市内病院にて無償で開始した。同日、ムリージョ副大統領は、同ワクチン接種を腎不全等の慢性的疾患を有する患者に優先的に実施するが、国民の任意接種であり、強制ではないとしている。その後、ワクチン優先者を、医療従事者、肥満及び高血圧を有する60歳以上の高齢者と対象を拡大した。

##### （2）大統領選に向けた野党の動き

ア 2月27日、ファン・セバスティアン・チャモロ（AC事務局長、Funides幹部）は、マナグア市内のホテルで次期大統領選挙における立候補を表明した。

イ 2月28日、フェリックス・マラディアガ（UNABメンバー）は、次期大統領選挙における立候補を表明した。

ウ 2日、アルトゥロ・クルス中米経営大学院（INCAE）教授（元駐米大使）は、次期大統領選挙における立候補を表明した。

エ 民主復興党（PRD）は、3日付プレスリリースにて、ミゲル・モラ氏（ジャーナリスト、ネットニュースサイト「100%Noticias」オーナー）を大統領候補者として選定した旨、発表した。

##### （3）インド製ワクチン20万回分の到着

7日、インド政府からの無償供与である COVISHIELD ワクチン20万回分が到着した。

(4) 無償援助されたスプートニクVの確保数(6千回分)

2月23日にロシア政府からの無償援助で確保していたスプートニクVに関して、3日、カルロス・サエンス保健省(MINSA)事務局長は、同ワクチン確保数は6千回分であると明らかにした。

(5) COVAX ファシリティによるワクチンの到着

16日、COVAX ファシリティの枠組みで確保されたワクチン(インド製 COVISHIELD) 13万5千回分がマナグア空港に到着した。

(6) 国家衛生管理機構設立法の可決

18日、当国国会において、国家衛生管理機構設立法が可決された。同法により、当国保健省(MINSA)の衛生管理局が有していた衛生に関する規制、管理、監視の権限が、MINSAの一部ではあるものの財政・管理が独立している国家衛生管理機構(ANRS)に移ることとなる。

(7) ロシアからの250台のバス供与

19日、ムリージョ副大統領は、国内公共交通機関の刷新のため、ロシア政府から250台のバスの供与を受ける予定である旨発表した。

(8) 米国会で提出されたニカラグア選挙改革強化法案

26日、5人の米国上院議員がニカラグア選挙改革強化法案(「Reinforcing Nicaragua's Adherence to Conditions for Electoral Reform Act of 2021: RENACER」)を提出した。

(9) 恩赦による囚人の大量釈放

25日、当国政府は、恩赦により全国の刑務所に収容されている計800人(男性747人、女性53人)の一般囚人を釈放した。但し、2018年4月の社会騒乱時に収容された政治犯は釈放されていない。

(10) 新型コロナウイルスに関する市民監視団体の発表概要

27日、市民監視団体(「Observatorio Ciudadano COVID-19 Nicaragua」)は、3月18日~2月24日の期間に関する週間レポートを発表した。

ア 3月18日~24日の期間に全国で34件の感染及び感染疑いが報告され、累計13,312名(うちマナグア県4,985名)となった。

イ 3月18日～24日の期間に新型コロナウイルスの感染で亡くなった疑いで死亡した人は5名報告された。3月24日までの累計死者数は3,014名となった。

ウ 3月24日までに888名の医療従事者のCOVID-19感染疑いが報告され、また119名の死亡が報告された。

(11) 新型コロナウイルスに関する保健省(MINSA)の週間レポート

30日、当国保健省は3月30日時点の国内の感染状況について週間レポートを発表したところ、概要以下のとおり。

ア 3月23日から30日までの間に、保健省は48名のCOVID-19陽性及びおそらく陽性であると診断されたニカラグア人に対して、責任をもって注意深いフォローアップを行った。また38名がフォローアップ期間を終了した。

イ パンデミックが始まってから今日までの間、保健省は合計5,326名に対し、責任をもって注意深いフォローアップを行った。

ウ COVID-19感染者及びフォローアップ対象者の大多数は、様々な持病を抱えている。最も多いのは糖尿病、肥満、高血圧、心疾患、免疫不全、慢性腎不全、脳卒中の既往歴、肺結核及び慢性肺疾患である。

エ この1週間の間に、COVID-19に起因する1名の死亡が確認された。(当館注:累計死者数は178名)また肺血栓感染症、糖尿病、急性心筋梗塞、高血圧及び細菌性肺炎によって、複数のフォローアップ対象者が死亡した。

オ 本日(30日)までに、5,102名のニカラグア人が回復した。

## 2 経済

### (1) ドイツによるマナグア湖浄化に関する借款

2月26日付官報をもって、当国政府は、ドイツ復興金融公庫(KfW)からマナグア湖浄化プロジェクトとして18百万ユーロ(約21.6百万米ドル)の借款を得ることを公表した。

(2) 2019年度社会保険庁 (INSS) 年間報告の公表

INSSは2019年度年間報告を公表した。同報告によれば、2017年に登録されていた企業数は35,055であったのに対し、2019年には31,646となっており、3,400社以上が倒産したことになる。

(3) BCIEによる病院設備改善支援

中米経済統合銀行 (BCIE) は、「優先医療機関におけるケア能力強化プロジェクト」として、当国政府に114.6百万米ドルの借款を承認した。

(4) BCIEによる配電システム支援

中米経済統合銀行 (BCIE) は、当国政府に対して、当国の安定かつ効率的な電気供給を目的に40.1百万米ドルの借款を決定した。

(5) レジェス中央銀行総裁による2020年の経済成長率及び2021年経済見通し

24日、レジェス・ニカラグア中央銀行総裁は、「2020年の当国経済成長率をマイナス2%、2021年の経済成長率予測を、2.5~3.5%のプラスとの見込みである」と発表した。

(6) 世界銀行によるニカラグア経済見通し

29日、世界銀行は、中南米の経済に関するレポート (「Renewing the Growth」) を発表し、2021年のニカラグア経済成長率を0.9%とした。

(7) 最低賃金引き上げ

労働省 (MITRAB) は、本年3月1日から8つのセクターの最低賃金を3%に引上げる旨、決定した。中小手工芸業、国営観光業の最低賃金に関しては1%の引上げとなる。

(通貨: コルドバ)	2021年3月以降の改定最低賃金額	以前の最低賃金額
農牧業	4,414.91	4,286.33
漁業	6,713.02	6,517.50
鉱業、採石業	7,929.01	7,698.07
製造業	5,936.34	5,763.44
中小手工芸業、国営観光業	4,651.47	4,605.42
電力、上下水、ガス、ホテル、運輸、レストラン、通信業	8,097.84	7,861.99
建設、金融、保険業	9,880.17	9,592.40
NGO、家事代行業	6,189.23	6,008.97
公務員	5,505.60	5,345.25

<主要経済指標>

	2019年	2020年	2021年		
			1月	2月	3月
インル率（対前年同月）	6.1%	未発表	未発表	未発表	未発表
貿易収支（百万ドル）	▲1,655.6	▲1,559.9	▲197.0	未発表	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	2,696.8	2,852.0	253.3	未発表	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	4,352.4	4,411.9	393.6	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,682.4	1,851.4	156.1	未発表	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,397.4	3,211.9	3,332.8	3,276.7	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行）

（了）